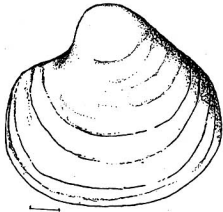


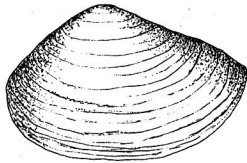
#### ザルガイのなかま

小～中型、放射肋をもつが、その多くは、後縁部では肋の状態が変化している。



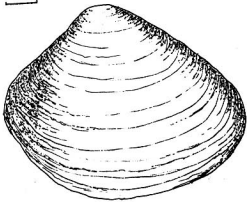
#### ウバトリガイ

(中新世) 大型で、卵円形で膨らんでいます。冷温から寒冷な海水の深さが10m～200mの、砂底に浅くもぐって棲み、プランクトンを食べる。



#### ナガウバガイ

(古第三紀～現世) 大型で、亜三角形、殻頂がやや前に寄る。ふくらみがあり、成長線がある。



#### シラトリガイ

(中新世～現在) 内湾の海底で砂か泥にもぐって棲む。



#### ペロニデア

(古第三紀～現世) 中～大型で、長い楕円形、ふくらみは弱い。殻頂はやや後ろに寄る。

